

# 沖縄地方の天候

2023 年（令和 5 年）

令和 6 年 1 月 12 日 沖縄気象台  
令和 6 年 2 月 2 日 更新

## 2023 年（令和 5 年）の沖縄地方の天候

天候の特徴	1
1 2023 年の気温・降水量・日照時間	2
2 天候の経過	3
3 梅雨	15
4 台風	17

### 【参考資料】

1 2023 年の沖縄地方における旬平均気温 ・旬降水量・旬間日照時間の推移	22
2 統計開始からの記録更新表	23
3 生物季節観測表	27

※本報告は令和 6 年 1 月 26 日時点の資料で作成したものです。

### 【更新箇所】

- ・ 台風第 14 号を速報値から確定値に更新しました。（17～18・20 ページ）
- ・ 台風第 2 号の説明に追記しました。（19 ページ）
- ・ 台風第 6 号の久米島の降水量の「 』」を削除しました。（19・20 ページ）

本件担当：沖縄気象台 地域防災推進課  
お問い合わせ先：098-918-4012

## 2023年（令和5年）の沖縄地方の天候

### 天候の特徴

- 沖縄地方の年降水量の地域平均平年比は88%で少なかった。特に、南大東島では年降水量の少ない方からの極値を更新した。沖縄地方は1月から5月、10月から11月にかけては低気圧や前線、台風の影響を受けにくく、曇りや雨の日が少なかった。11月は大陸の高気圧に覆われやすかったため月降水量の地域平均平年比は37%でかなり少なく、1946年の統計開始以降3番目に少なかった。秋（9月～11月）も降水量の地域平均平年比が55%でかなり少なく、統計開始以降5番目に少なかった（5位タイ）。一方、8月は台風第6号の影響を長く受けたこともあり月降水量の地域平均平年比は216%でかなり多く、統計開始以降最も多かった。
- 沖縄地方は一時的に気温が平年を下回る時期もあったが、年間を通して気温が平年を上回る期間が多かった。このため、沖縄地方の年平均気温の地域平均平年差は+0.4℃で高く、統計を開始した1946年以降5番目に高かった（5位タイ）。9月は、高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温の地域平均平年差は+0.8℃で高く、統計開始以降5番目に高かった。また、秋も平均気温の地域平均平年差は+0.5℃で高く、統計開始以降5番目に高かった（5位タイ）。
- 沖縄地方の梅雨入りは5月18日ごろ（平年は5月10日ごろ）で遅く、梅雨明けは6月25日ごろ（平年は6月21日ごろ）で遅かった。梅雨の時期（5月～6月）の降水量の地域平均平年比は63%で少なかった。
- 台風の年間発生数は17個で少なかった（平年は25.1個）。9月以降の発生数は5個（平年値は11.6個）となり、1951年の統計開始以降最も少なかった。沖縄県への台風の年間接近数は6個だった（平年は7.7個）。

## 1 2023 年の気温・降水量・日照時間

沖縄地方の年平均気温の地域平均平年差は+0.4℃で高く、年降水量の地域平均平年比は88%で少なく、年間日照時間の地域平均平年比は105%が多かった。

表1 2023 年の平均気温、降水量及び日照時間

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	23.8	+0.5	+	2291.5	106	0	1860.9	108	+
名護	23.4	+0.6	++	2228.0	105	0	1873.6	108	++
久米島	23.8	+0.6	++	2044.0	91	0	1882.2	110	++
南大東島	23.9	+0.4	+	830.0	51	—	2124.0	100	0
宮古島	24.2	+0.4	+	1687.0	81	—	1794.8	103	0
石垣島	24.8	+0.3	+	1455.5	69	—	1879.1	101	0
西表島	24.3	+0.4	+	1609.5	72	-	1724.9	100	0
与那国島	24.3	+0.3	+	2127.5	92	0	1622.8	103	0
沖縄地方		+0.4	+		88	-		105	+

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

〔なお、沖縄地方の平均気温、降水量等の気象要素の地域平均平年差(比)は、那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島における平均気温、降水量等の気象要素の平年差(比)を7地点平均することにより算出している。〕

年内での旬推移のグラフについては、「【参考資料】2023年の沖縄地方における旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移」を参照ください。

## 2 天候の経過

### (1) 1月

沖縄地方は、期間の前半は寒気の影響を受けにくかった一方、後半は大陸からの強い寒気の影響を受けて曇りや雨の日が多く、荒れた天気となった所もあった。月全体では、この時期としては晴れた日が多かった。

平均気温は、中旬は高かったが、下旬は一転してかなり低くなり、気温の変動が大きかった。地域平均平年差は+0.1℃で平年並だった。降水量は地域平均平年比は62%で少なかった。日照時間は沖縄本島地方を中心に平年より多く、地域平均平年比は121%で多かった。

表2 1月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	17.5	+0.2	0	55.0	54	-	135.3	145	++
名 護	16.7	+0.2	0	66.0	68	-	128.7	136	++
久 米 島	17.3	+0.3	0	66.5	48	-	107.7	143	+
南大東島	18.1	+0.1	0	31.5	41	--	150.9	124	+
宮 古 島	18.3	0.0	0	64.0	46	-	96.6	113	+
石 垣 島	18.9	0.0	0	83.5	62	-	87.2	103	0
西 表 島	18.5	0.0	0	119.0	73	0	72.8	101	0
与那国島	18.6	+0.1	0	161.5	86	0	56.7	107	0
沖縄地方		+0.1	0		62	-		121	+

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(2) 2月

沖縄地方は期間の前半は大陸の高気圧の張り出しが弱かった一方で、前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かった。期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日もあり、天気は数日の周期で変わった。

沖縄地方の平均気温は、期間の前半を中心に寒気の影響を受けにくかったことから、地域平均平年差は+1.1℃で高かった。降水量は、低気圧や前線の影響を受けにくく、まとまった雨となりにくかったため、地域平均平年比は59%で少なかった。西表島と鏡原では月降水量の少ない方からの2月としての極値を更新した。日照時間は、中旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったため多かったが、上旬は少なく、地域平均平年比は91%で平年並だった。

表3 2月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	19.0	+1.5	++	77.5	68	-	104.6	112	0
名護	18.4	+1.6	++	83.0	76	0	94.9	104	0
久米島	19.0	+1.7	++	98.0	69	0	86.1	107	0
南大東島	19.3	+1.2	+	23.5	29	-	103.3	86	-
宮古島	19.7	+1.1	+	57.0	48	-	60.4	67	-
石垣島	20.1	+0.7	+	54.5	44	-	70.9	78	-
西表島	19.6	+0.6	+	41.5	28	--	70.3	85	0
与那国島	19.5	+0.5	+	132.0	81	0	51.5	85	0
沖縄地方		+1.1	+		59	-		91	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(3) 3月

沖縄地方は、上旬から中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。一方、下旬は低気圧や前線及び湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多く、22日は沖縄本島地方で線状降水帯が発生し本島北部を中心に大雨となり、30日は先島諸島で大雨となった所があった。

平均気温は、期間のはじめに寒気の影響で低くなった日もあったが、その後は暖かい空気に覆われた日が多かったことから、地域平均平年差は+0.8℃で高かった。降水量は、上旬はかなり少なかったが、下旬は多くなり、地域平均平年比は90%で平年並となった。一方、南大東島の降水量はかなり少なく、月降水量は少ない方からの3月の2位となった。日照時間は、上旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったことから、地域平均平年比は117%で多かった。

表4 3月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	20.0	+0.9	+	81.5	57	-	133.8	116	+
名護	19.5	+1.0	+	268.0	190	++	127.6	113	+
久米島	20.1	+1.1	+	108.5	55	-	118.1	110	0
南大東島	20.5	+1.0	+	5.0	6	--	190.0	123	++
宮古島	20.9	+0.8	+	129.0	93	0	133.1 )	115	+
石垣島	21.5	+0.6	0	142.5	106	0	138.4	117	+
西表島	21.0	+0.8	+	105.0	71	-	125.8	117	+
与那国島	20.9	+0.4	0	97.0	59	-	116.5	132	+
沖縄地方		+0.8	+		90	0		117	+

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(4) 4月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、天気は数日の周期で変わった。19日から20日は沖縄本島地方を中心に大雨となった所があり、30日は与那国島地方で大雨となった。

平均気温は、暖かい空気に覆われた日が多かったことから、地域平均平年差は+0.6℃で高かった。降水量の地域平均平年比は85%で平年並だった。一方、大東島地方や宮古島地方、石垣島地方では、前線や湿った空気の影響を比較的受けにくく、月降水量は少なかった。特に、波照間では月降水量の少ない方からの4月としての極値を更新した。日照時間は、上旬から中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったことから、地域平均平年比は127%でかなり多かった。

表5 4月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	22.5	+1.0	+	221.0	137	+	161.8	134	++
名護	22.2	+1.3	++	183.0	114	0	161.2	133	++
久米島	22.4	+0.9	+	163.0	83	0	149.6	126	+
南大東島	22.5	+0.9	++	42.5	37	-	143.8	94	0
宮古島	22.9	+0.4	+	74.0	50	-	150.3	122	+
石垣島	23.7	+0.3	0	84.5	58	-	161.0	124	+
西表島	23.1	+0.3	0	30.5	19	--	149.5	120	+
与那国島	23.1	+0.1	0	204.0	133	+	134.0	128	+
沖縄地方		+0.6	+		85	0		127	++

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(5) 5月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、天気は数日の周期で変化した。31日は、台風第2号の影響で先島諸島は、荒れた天気となった。

降水量は、この時期としては前線や湿った空気の影響を受けにくかったことから、地域平均平年比は36%で少なかった。特に与那国島の月降水量は18%でかなり少なく、月降水量の少ない方からの5月の2位となった。平均気温は、上旬の後半から中旬の前半と、下旬の中頃は冷涼な空気の影響で平年を下回る日があったが、そのほかの期間は暖かい空気に覆われて平年を上回り、地域平均平年差は-0.1℃で平年並だった。日照時間の地域平均平年比は90%で平年並だった。

なお、沖縄地方は5月18日ごろに梅雨入りしたとみられ、平年より8日遅く、昨年より14日遅かった。

表6 5月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	24.3	+0.1	0	100.5	41	-	131.3	95	0
名護	23.9	+0.1	0	97.5	44	-	130.5	95	0
久米島	24.4	+0.2	0	82.5	32	--	151.7	111	+
南大東島	23.8	-0.3	0	73.5	33	--	185.4	108	0
宮古島	24.9	-0.1	0	126.0	57	-	125.4	84	-
石垣島	25.6	-0.3	-	57.5	30	--	147.7	90	0
西表島	25.2	-0.3	0	49.0	28	-	125.7	76	-
与那国島	25.0	-0.4	-	37.5	18	--	115.5	81	-
沖縄地方		-0.1	0		36	-		90	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。



(6) 6月

沖縄地方は、上旬のはじめは台風第2号、中旬のはじめは台風第3号の影響で大雨や荒れた天気となった所があった。中旬から下旬の前半にかけては梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く大雨となった所があった。上旬の中頃と下旬の後半は梅雨前線が本州付近に北上し、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。

沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は-0.1℃で平年並だった。降水量は、梅雨前線の影響を受けやすかった那覇と名護では平年を上回ったが、その他の地点（気象官署及び特別地域気象観測所）では平年を下回り、地域平均平年比は87%で平年並だった。日照時間は、上旬は多かったが、中旬はかなり少なく、地域平均平年比は91%で平年並だった。

なお、沖縄地方は6月25日ごろに梅雨明けしたとみられ、平年より4日遅く、昨年より5日遅かった。

表7 6月の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	27.2	0.0	0	400.5	141	+	145.0	91	0
名護	27.0	+0.1	0	345.0	118	+	138.0	91	0
久米島	27.2	0.0	0	233.0	76	0	139.3	88	0
南大東島	26.6	-0.3	0	117.5	59	-	192.4	88	-
宮古島	27.5	-0.2	0	78.0	40	-	190.9	99	0
石垣島	27.9	-0.5	-	155.0	74	0	202.6	95	0
西表島	27.7	-0.1	0	120.0	64	0	180.0	88	0
与那国島	27.6	-0.3	-	158.0	97	0	161.0	88	0
沖縄地方		-0.1	0		87	0		91	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

## (7) 7月

沖縄地方は、中旬の前半までは太平洋高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったが、その後は気圧の谷や湿った空気、台風第5号と台風第6号の影響で曇りや雨の日があり、大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は+0.5℃で高かった。降水量は、平年の半分程度の所が多かったが、与那国島では平年の2倍程度となり、地域平均平年比は88%で平年並だった。日照時間の地域平均平年比は101%で平年並だった。

表8 7月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	29.6	+0.5	+	92.0	49	0	232.3	102	0
名 護	29.4	+0.5	+	104.0	57	0	226.4	96	0
久米島	29.6	+0.6	+	121.5	79	0	258.6	103	0
南大東島	29.1	+0.4	+	47.5	40	0	269.9	97	0
宮古島	29.2	+0.3	+	109.5	72	0	232.2	96	0
石垣島	30.0	+0.4	+	43.5	31	-	277.0	106	+
西表島	29.3	+0.4	+	166.0	129	+	246.1	96	-
与那国島	29.5	+0.6	+	245.0	196	+	275.1	107	+
沖縄地方		+0.5	+		88	0		101	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

(8) 8月

沖縄地方は、中・下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、上旬は動きの遅かった台風第6号の影響を長期間受けたことや湿った空気の影響などで曇りや雨の日が多く、大雨や大荒れとなった日があった。31日は台風第11号の影響で大東島地方は荒れた天気となった所があった。

沖縄地方の降水量の地域平均平年比は216%でかなり多く、統計を開始した1946年以降、8月として最も多い値となった。那覇と久米島及び複数の地域気象観測所では、月降水量の多い方からの8月の極値を更新し、特に本部と北原では通年の極値も更新した。日照時間の地域平均平年比は92%と少なかった。平均気温は、上旬は曇りや雨の日が多かったことから低かったが、その後は晴れた日が多く暖かい空気に覆われたことから下旬は高くなった。8月の平均気温の地域平均平年差は0.0℃と平年と同値だった。

表9 8月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那 覇	28.6	-0.4	-	738.5	308	++	181.9	88	-
名 護	28.5	-0.3	-	780.0	293	++	172.7	82	--
久 米 島	28.5	-0.4	-	808.5	409	++	208.6	90	-
南大東島	28.2	-0.4	-	154.0	102	0	180.2	72	--
宮 古 島	28.9	+0.3	+	500.0	194	++	204.3	97	0
石 垣 島	29.7	+0.3	+	247.5	99	0	218.2	94	-
西 表 島	28.8	+0.3	+	295.5	105	0	216.5	99	0
与那国島	28.7	0.0	0	223.0	105	0	216.1	95	-
沖縄地方		0.0	0		216	++		92	-

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

## (9) 9月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、期間のはじめは台風第11号、その後は気圧の谷の影響などで曇りや雨の日もあり、大雨となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、暖かい空気に覆われた日が多かったことから地域平均平年差は+0.8℃と高かった。特に名護と久米島では、9月の月平均気温の高い方からの極値を更新した。沖縄地方の降水量の地域平均平年比は77%と平年並だったが、台風第11号が接近した石垣島や与那国島では平年を上回り、その他の地点では平年を下回った。特に気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくかった南大東島では平年の3割未満と少なかった。沖縄地方の日照時間の地域平均平年比は118%と多かった。特に久米島では、9月の月間日照時間の多い方からの極値を更新した。

表10 9月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	28.7 )	+0.8	++	204.5	74	0	199.9	110	+
名 護	28.7	+1.1	++	88.0	37	-	228.7	125	++
久米島	29.0	+1.3	++	123.5	52	0	253.6	128	++
南大東島	28.7	+0.8	+	47.0	28	-	260.1	118	++
宮古島	28.4	+0.8	+	126.0	49	-	195.4	109	+
石垣島	28.9	+0.7	+	307.0	118	+	210.1	111	+
西表島	28.0	+0.4	+	219.5	81	0	210.0	114	+
与那国島	28.0	+0.5	+	371.0	130	+	227.7	126	++
沖縄地方		+0.8	+		77	0		118	+

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

## (10) 10月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、台風第14号や湿った空気、前線などの影響で曇りや雨の日もあり大雨や荒れた天気となった所もあった。

沖縄地方の平均気温は、中旬と下旬は平年並だったが上旬がかなり高かったため、地域平均平年差は+0.7℃で高かった。沖縄地方の降水量はまとまった雨が降らず全ての地点で平年を下回り、地域平均平年比は41%と少なかった。安次嶺と鏡原では月降水量の少ない方からの10月の極値を更新した。沖縄地方の日照時間の地域平均平年比は103%で平年並だった。

表11 10月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	26.0	+0.5	0	81.0	45	-	185.9	114	+
名護	25.5	+0.5	+	50.5	27	-	209.1	126	++
久米島	25.7	+0.4	0	47.5	31	-	171.1	105	0
南大東島	25.8	-0.1	0	88.5	49	-	201.8	113	+
宮古島	26.5	+1.0	++	31.0	20	--	172.9	114	+
石垣島	26.8	+0.8	+	61.5	29	-	148.4	94	-
西表島	26.1	+0.7	+	133.0	62	0	134.5	97	0
与那国島	26.1	+0.7	+	169.0	71	0	97.3	74	-
沖縄地方		+0.7	+		41	-		103	0

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++：かなり高い(かなり多い)、+：高い(多い)、0：平年並、-：低い(少ない)、--：かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

## (11) 11月

沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や荒れた天気となった所があった。

沖縄地方の平均気温は、上旬は暖かい空気の流れ込みがあり、かなり高く、中旬は寒気の影響で低くなり、変動が大きかったが、地域平均平年差は+0.2℃で平年並だった。沖縄地方の降水量は、低気圧や前線などの影響を受けにくかったため、全ての地点で平年を下回り、地域平均平年比は37%でかなり少なく、1946年の統計開始以降11月として3番目に少なかった。宮古島、下地島など複数の地点で、月降水量の少ない方からの11月の極値を更新した。沖縄地方の日照時間は、全ての地点で平年を上回り、地域平均平年比は134%でかなり多かった。

表12 11月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	22.6	+0.1	0	56.5	47	-	155.6	128	+
名 護	22.0	+0.1	0	30.5	26	--	154.5	124	+
久米島	22.5	+0.1	0	46.0	35	-	160.3	148	++
南大東島	23.5	+0.4	+	33.5	28	--	150.8	111	+
宮古島	23.3	+0.2	0	34.0	24	--	153.4	137	++
石垣島	23.9	+0.3	0	32.5	24	--	149.3	129	+
西表島	23.4	+0.3	0	120.5	63	-	133.3	137	+
与那国島	23.4	+0.3	0	94.0	42	-	118.7	138	++
沖縄地方		+0.2	0		37	--		134	++

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

## (12) 12月

沖縄地方では、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線及び大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があった。

沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は+0.5℃で平年並だった。なお、月のはじめと後半に寒気の影響で平年を下回った日があったが、暖かい空気が流れ込み平年を上回った日もあり、気温の変動が大きかった。沖縄地方の降水量は、地域平均平年比は142%で多く、宮古島では平年の2倍以上とかなり多かった。下地島と仲筋では月降水量の多い方からの12月の極値を更新した。沖縄地方の日照時間は、地域平均平年比は86%で少なかった。

表13 12月の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.7	+0.7	0	183.0	166	+	93.5	87	-
名 護	19.0	+0.8	+	132.5	121	+	101.3	94	0
久米島	19.5	+0.5	0	145.5	109	0	77.5	86	0
南大東島	20.4	+0.7	+	166.0	133	+	95.4	79	-
宮古島	20.4	+0.4	0	358.5	244	++	79.9	86	-
石垣島	20.9	+0.4	0	186.0	120	+	68.3	76	-
西表島	20.5	+0.5	0	210.0	119	0	60.4	85	-
与那国島	20.6	+0.5	+	235.5	117	+	52.7	89	0
沖縄地方		+0.5	0		142	+		86	-

(注) 平年値の統計期間は1991～2020年である。「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、-: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)

なお、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めている。また、値が1991～2020年の下位または上位10%(3位まで)に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」または「かなり高い(多い)」と表現する。梅雨入り・梅雨明けの時期の「早い」、「平年並」、「遅い」、の階級についても、同様の方法で決めている。

)”付きの値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲で欠けている)を意味する。

### 3 梅 雨

- (1) 梅雨入り：5月18日ごろ（平年：5月10日ごろ、2022年：5月4日ごろ）
- (2) 梅雨明け：6月25日ごろ（平年：6月21日ごろ、2022年：6月20日ごろ）
- (3) 特徴

沖縄地方の梅雨入り、梅雨明けはいずれも遅かった。

沖縄地方は5月18日ごろに梅雨入りしたが、6月上旬ごろまでは近海に前線が停滞しにくい状況となり、晴れの日が多くなった。6月12日ごろからは近海に前線が停滞する日が続き、曇りや雨の日が多くなった。

月別にみると、5月の沖縄地方は、梅雨前線や湿った空気の影響を受けにくかったことから、降水量は地域平均平年比で36%と少なかった。特に与那国島の月降水量は平年比18%とかなり少なく、5月の月降水量の少ない方からの2位となった。

6月の沖縄地方は、上旬ごろは2個の台風の接近があり、1日から2日は大雨や荒れた天気となった所があった。中旬から下旬の前半にかけては梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、13日から15日は沖縄本島地方を中心に大雨となった。宮城島では14日に日最大1時間降水量の6月として1位タイとなる45.0ミリを観測した。降水量は、梅雨前線の影響を受けやすかった沖縄本島地方を中心に多かったが、地域平均平年比は87%で平年並だった。

梅雨の時期（5月～6月）の降水量は、沖縄地方の全ての観測点で平年を下回り、地域平均平年比は63%で少なかった。梅雨の時期の日照時間の地域平均平年比は91%で平年を下回った。

表 14 2023 年の梅雨の時期（5 月～6 月）の降水量

地点	5 月の降水量		6 月の降水量		5 月～6 月（2 か月間）		
	降水量(mm)	平年値(mm)	降水量(mm)	平年値(mm)	降水量(mm)	平年値(mm)	平年比(%)
那 覇	100.5	245.3	400.5	284.4	501.0	529.7	95
名 護	97.5	220.1	345.0	291.7	442.5	511.8	86
久 米 島	82.5	260.3	233.0	307.4	315.5	567.7	56
南大東島	73.5	222.0	117.5	199.6	191.0	421.6	45
宮 古 島	126.0	222.3	78.0	194.7	204.0	417.0	49
石 垣 島	57.5	190.7	155.0	208.2	212.5	398.9	53
西 表 島	49.0	175.6	120.0	186.3	169.0	361.9	47
与那国島	37.5	207.3	158.0	162.3	195.5	369.6	53
沖縄地方							63



表 15 2023 年の梅雨の時期（5 月～6 月）の日降水量 1mm 以上の日数と日照時間

地点	日降水量 1mm 以上の日数		日照時間	
	日数	平年値 (日)	時間 (h)	平年比 (%)
那 覇	18	22.7	276.3	93
名 護	19	24.1	268.5	93
久 米 島	16	23.2	291.0	99
南大東島	11	20.0	377.8	97
宮 古 島	16	20.5	316.3	93
石 垣 島	15	17.6	350.3	93
西 表 島	14	19.8	305.7	83
与那国島	20	21.2	276.5	85
沖縄地方				91

沖縄地方の平年比（地域平均平年比）は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の平年比の 7 地点平均である。

## 4 台 風

### (1) 台風発生数と沖縄県への接近数<sup>1</sup>

台風の発生数及び沖縄県への接近数を表 16 に示す。台風の発生数は 17 個(平成 25.1 個)で少なく、沖縄県への年間接近数は 6 個(平成 7.7 個)だった。沖縄県に接近した台風と台風が接近した気象官署等<sup>2</sup>を表 17 に示す。また、沖縄県に接近した台風の経路図を図 1 に示す。

8 月までの発生数は 12 個で平成並だったが、9 月以降の発生数は 5 個(平成値 11.6 個)で 1951 年の統計開始以降最も少なくなった。秋に南シナ海からフィリピン付近まで広がる気圧の谷であるモンスーントラフが平成より弱くなり、この付近の対流活動が不活発となったことが要因の一つと考えられる。

また、8 月上旬は沖縄付近において台風第 6 号が停滞し、長期間台風の影響を受けたため、8 月の沖縄地方は曇りや雨の日が多くなり、月降水量平成比は 216%で、8 月としては統計を開始した 1946 年以降最も多くなった。台風の動きが遅くなったのは偏西風が平成より北を流れていたためと考えられる。

表 16 2023 年の台風の月間(年間)発生数及び沖縄県への月間(年間)接近数とその平成値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
台風発生数	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17
平成値	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.6	3.7	5.7	5.0	3.5	2.2	1.0	25.1
台風接近数	0	0	0	0	1	2	1	1	2	1	0	0	6
平成値	—	—	—	0.0	0.4	0.6	1.5	2.2	1.9	1.1	0.3	0.0	7.7

発生数・接近数は日本時間(JST)を基準にしている。

計算過程に四捨五入を含むため、月の平成値の合計と年の平成値は一致しない。

また、1 個の台風が複数の月にまたがって接近する場合があるため、1 月～12 月の接近数の合計と年間接近数は一致しない場合がある。

1 月～3 月の月間接近数の平成値にある“—”は、平成値の統計期間(1991 年～2020 年の 30 年間)に台風の接近が 1 個もなかったことを示す。

表 17 沖縄県に接近した台風

月	接近数	沖縄県に接近した台風	台風が接近した気象官署等
5 月	1 個	台風第 2 号	5、6 月に接近：宮古島、石垣島、西表島
6 月	2 個		6 月に接近：那覇、名護、久米島、南大東島、与那国島
6 月	2 個	台風第 3 号	南大東島
7 月	1 個	台風第 6 号	7、8 月に接近：南大東島
8 月	1 個		8 月に接近：那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島
9 月	2 個	台風第 11 号	宮古島、石垣島、西表島、与那国島
		台風第 13 号	南大東島
10 月	1 個	台風第 14 号	石垣島、西表島、与那国島

<sup>1</sup> 沖縄県に接近した台風とは、台風の中心が那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島のいずれかの気象官署等から 300km 以内に入ったものをいう。

<sup>2</sup> 気象官署等とは、那覇、名護、久米島、南大東島、宮古島、石垣島、西表島及び与那国島の気象台または特別地域気象観測所のことを意味する。

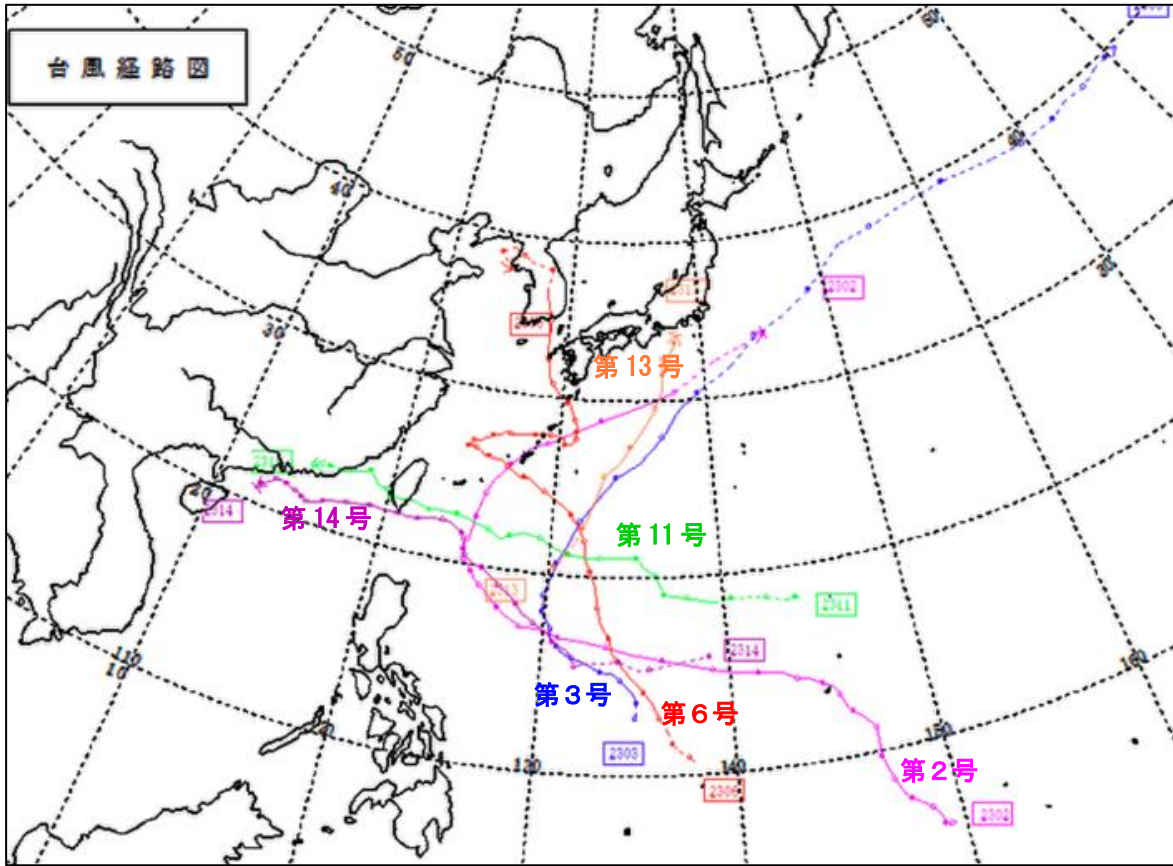


図1 沖縄県に接近した台風の経路図

(2) 気象概況および台風が接近した気象官署等の観測記録（最大風速の上位3位まで）  
 表中の期間は、雨の降り始めと降り終わりを日単位で示す。

① 台風第2号

5月20日21時にカロリン諸島で熱帯低気圧から変わった台風第2号は、発達しながら北西に進み、25日21時にはマリアナ諸島で中心気圧900hPa、最大風速60m/sの猛烈な勢力となった。その後、徐々に勢力を弱めながら31日から6月1日にかけて宮古島の南海上から東海上を北東に進み、1日9時には暴風域がなくなり沖縄本島付近を通過後、日本の南に進んだ。

	宮古島	与那国島	那覇
最低海面気圧	975.8 hPa	990.1 hPa	971.3 hPa
起時	6月1日 11時02分	6月1日 05時08分	6月1日 23時34分
最大風速	東北東 20.0 m/s	北 19.4 m/s	南東 19.1 m/s
起時	5月31日 18時16分	6月1日 03時18分	6月1日 20時52分
最大瞬間風速	東北東 31.0 m/s	北 27.1 m/s	南東 31.3 m/s
起時	5月31日 23時30分	6月1日 03時36分	6月1日 22時14分
期間降水量	58.0 mm	35.0 mm	79.5 mm
期間	5月30日～6月2日	5月30日～6月2日	5月30日～6月2日

② 台風第3号

6月6日21時にフィリピンの東で熱帯低気圧から変わった台風第3号は、発達しながら北西に進み、8日21時には強い勢力となり、11日に勢力をやや弱めて南大東島の東海上を北東に進んだ。その後、12日21時に八丈島の南で温帯低気圧に変わった。

	南大東島
最低海面気圧	996.6 hPa
起時	6月11日 16時03分
最大風速	東南東 10.3 m/s
起時	6月11日 07時09分
最大瞬間風速	東南東 17.1 m/s
起時	6月11日 07時01分
期間降水量	8.5 mm
期間	6月10日～12日

③ 台風第6号

7月28日9時にフィリピンの東で熱帯低気圧から変わった台風第6号は、発達しながら北よりに進み、31日9時には中心気圧945hPa、最大風速45m/sの大型で非常に強い勢力となった。その後、進路を西よりに変え、8月2日にかけて沖縄本島と宮古島の間を通過して東シナ海に進んだ。

2日21時から西への動きがゆっくりとなり、3日は宮古島の北海上でほとんど停滞した。3日15時に大型で強い勢力となり、4日は進路を東に変え、沖縄本島に再び接近した。沖縄本島の北海上を東に進んだ後、7日は進路を北よりに変え、10日にかけて九州の西海上を北上した。

	那覇	久米島	宮古島
最低海面気圧	967.3 hPa	954.2 hPa	979.0 hPa
起時	8月2日 04時37分	8月2日 10時57分	8月2日 16時19分
最大風速	東北東 30.9 m/s	南東 27.2 m/s	南西 23.9 m/s
起時	8月1日 19時58分	8月2日 19時27分	8月3日 05時20分
最大瞬間風速	東南東 52.5 m/s	東南東 39.7 m/s	南西 39.0 m/s
起時	8月2日 04時14分	8月2日 19時19分	8月3日 06時17分
期間降水量	683.5 mm	792.5 mm	429.5 mm
期間	7月31日 ~ 8月8日	7月31日 ~ 8月8日	7月31日 ~ 8月8日

④ 台風第 11 号

8月29日3時にフィリピンの東で熱帯低気圧から変わった台風第11号は、発達しながら西よりに進み、9月1日21時には沖縄の南で強い勢力となった。その後、2日から3日にかけて先島諸島の南海上を西に進み、台湾に上陸後、5日には華南で熱帯低気圧に変わった。

	与那国島	宮古島	石垣島
最低海面気圧	998.3 hPa	998.4 hPa	997.1 hPa
起時	9月3日 04時03分	9月2日 15時49分	9月2日 17時41分
最大風速	東 14.9 m/s	東北東 14.4 m/s	東北東 14.0 m/s
起時	9月3日 08時16分	9月2日 15時07分	9月2日 22時11分
最大瞬間風速	東北東 21.2 m/s	東南東 22.9 m/s	東北東 22.2 m/s
起時	9月3日 09時28分	9月2日 16時23分	9月3日 00時10分
期間降水量	192.0 mm	63.5 mm	105.0 mm
期間	8月31日 ~ 9月4日	8月31日 ~ 9月4日	8月31日 ~ 9月4日

⑤ 台風第 13 号

9月5日21時に日本の南で熱帯低気圧から変わった台風第13号は、ほぼ勢力を維持したまま北東に進み、6日にかけて南大東島に接近した。その後、南大東島の東海上を北東に進み、8日に東海道沖で熱帯低気圧に変わった。

	南大東島
最低海面気圧	1004.0 hPa
起時	9月6日 04時29分
最大風速	北北西 8.3 m/s
起時	9月6日 08時40分
最大瞬間風速	北西 13.6 m/s
起時	9月6日 07時30分
期間降水量	0.5 mm
期間	9月5日 ~ 6日

⑥ 台風第 14 号

9月30日3時にフィリピンの東で熱帯低気圧から変わった台風第14号は、発達しながら北西に進み、10月2日21時には大型で非常に強い勢力となり、3日から4日にかけて八重山地方に接近した。4日9時には進路を西に変え、八重山地方の南海上を西に進み、南シナ海へ進んだ後、9日15時に熱帯低気圧に変わった。

	与那国島	石垣島	西表島
最低海面気圧	1002.4 hPa	1001.4 hPa	1001.5 hPa
起時	10月4日 05時31分	10月4日 05時27分	10月4日 05時43分
最大風速	北 13.5 m/s	南南東 10.8 m/s	東北東 9.0 m/s
起時	10月3日 09時15分	10月5日 06時04分	10月4日 11時12分
最大瞬間風速	北 18.8 m/s	北東 16.6 m/s	東北東 15.2 m/s
起時	10月3日 08時45分	10月3日 13時43分	10月4日 04時00分
期間降水量	20.5 mm	9.5 mm	42.0 mm
期間	10月2日 ~ 5日	10月2日 ~ 5日	10月2日 ~ 5日

参 考 資 料

1 2023年の沖縄地方における旬平均気温・旬降水量・旬間日照時間の推移

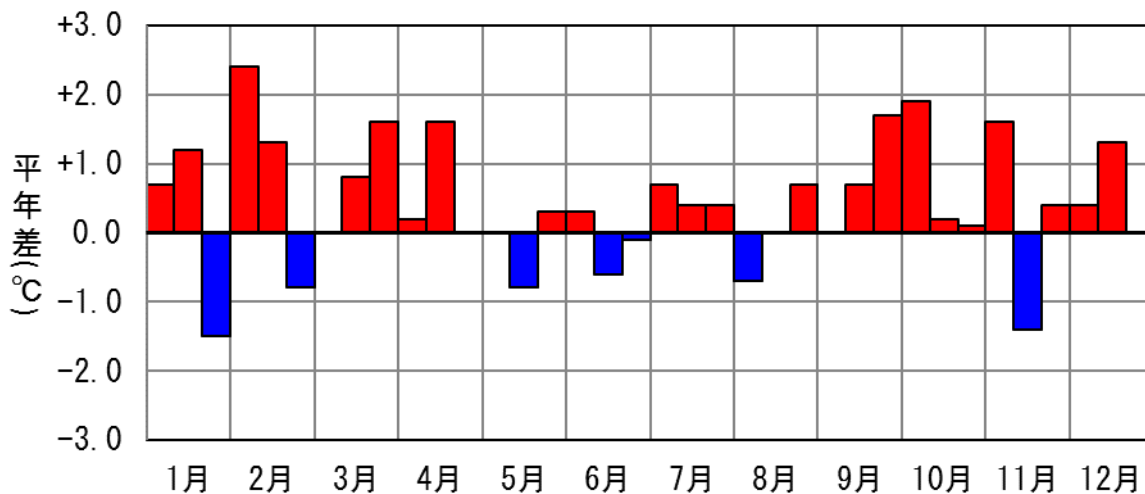


図2 旬平均気温の地域平均平年差の推移

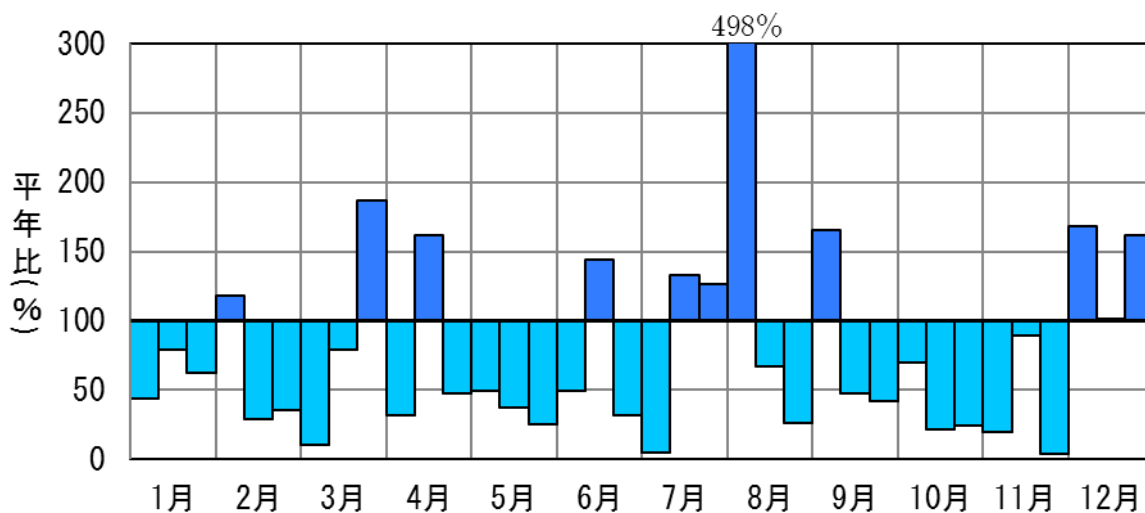


図3 旬降水量の地域平均平年比の推移

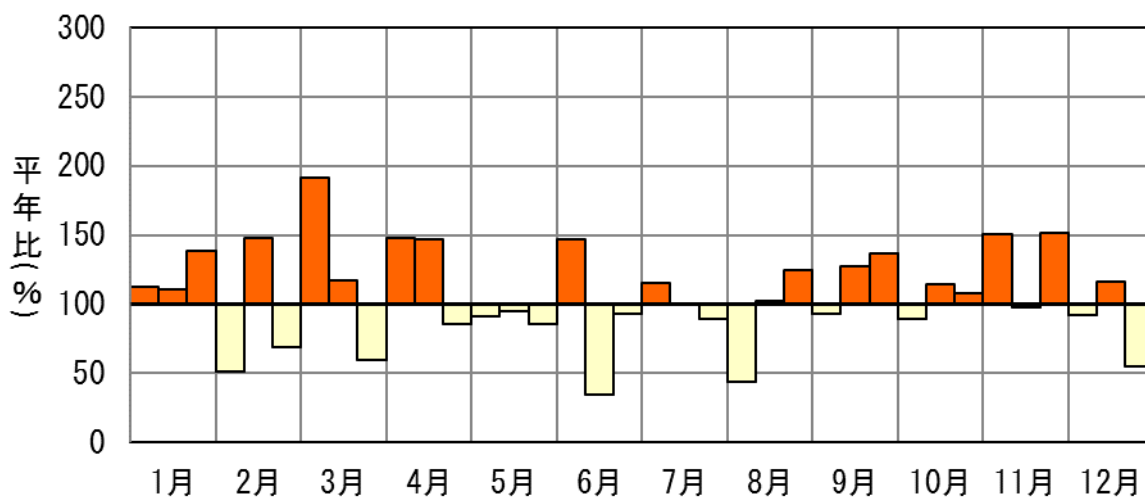


図4 旬間日照時間の地域平均平年比の推移

同一の月にある3本の棒グラフは左から順に上旬、中旬、下旬の地域平均平年差（比）を表している。

## 2 統計開始からの記録更新表

(那覇・名護・久米島・南大東島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島)

表18 月の統計値に関する統計開始からの記録更新表  
(各地点での歴代3位まで、“\*”はタイ記録を示す)

月平均気温の高い方から

月	順位	地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	これまでの最高 (°C)	統計開始	平年値 (°C)
2月	3位	名護	18.4	+1.6	19.2 (2019年)	1967年2月	16.8
9月	1位	名護	28.7*	+1.1	28.7 (2017年)	1966年9月	27.6
9月	1位	久米島	29.0	+1.3	28.7 (2017年)	1958年9月	27.7
10月	3位	宮古島	26.5*	+1.0	27.2 (2016年)	1937年10月	25.5

月降水量の多い方から

月	順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最大 (mm)	統計開始	平年値 (mm)
8月	1位	那覇	738.5	308	678.5 (1937年)	1890年8月	240.0
8月	1位	久米島	808.5	409	606.5 (2012年)	1958年8月	197.7
8月	2位	名護	780.0	293	821.5 (1978年)	1966年8月	265.9

月降水量の少ない方から

月	順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最少 (mm)	統計開始	平年値 (mm)
2月	1位	西表島	41.5	28	44.6 (1962年)	1954年2月	146.6
3月	2位	南大東島	5.0	6	3.5 (1997年)	1942年3月	84.2
4月	3位	西表島	30.5	19	14.2 (1958年)	1954年4月	157.3
5月	2位	与那国島	37.5	18	26.5 (2000年)	1957年5月	207.3
11月	1位	宮古島	34.0	24	40.0 (2001年)	1937年11月	139.8

月最大24時間降水量

月	順位	地点名	降水量 (mm)	観測日	これまでの最大 (mm)	統計開始
3月	2位	名護	161.0	3月22日	166.0 (1995年)	1969年3月
4月	3位	那覇	165.0	4月20日	166.1 (1939年)	1900年4月
8月	1位	久米島	304.5	8月5日	278.5 (2012年)	1958年8月
8月	2位	名護	279.0	8月2日	457.0 (2011年)	1969年8月



月間日照時間の多い方から

月	順位	地点名	日照時間 (時間)	平年比 (%)	これまでの最大 (時間)	統計開始	平年値 (時間)
1月	3位	名護	128.7	136	157.8 (2014年)	1967年1月	94.7
9月	1位	久米島	253.6	128	247.8 (1984年)	1958年9月	198.6
9月	2位	名護	228.7	125	229.4 (1985年)	1966年9月	183.4
10月	2位	名護	209.1	126	235.2 (1977年)	1966年10月	166.2
11月	3位	久米島	160.3	148	173.5 (1968年)	1958年11月	108.3
11月	3位	西表島	133.3	137	152.2 (1997年)	1958年11月	97.1

”]”付きの値は、資料不足値（統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けている）を意味する。

※月平均気温の低い方からの記録更新は、該当なし

※月間日照時間の少ない方からの記録更新は、該当なし

年間の記録

順位	地点名	要素	観測値	観測月	統計開始
3位	久米島	月降水量の多い方から (mm)	808.5	8月	1958年7月
3位	南大東島	月降水量の少ない方から (mm)	5.0	3月	1942年2月

表19 日統計値に関する統計開始からの記録更新表  
 (各地点での歴代1位のみ、“\*”はタイ記録を示す)

## 月別の記録

月	地点名	要素	観測値	観測日	統計開始
1月	久米島	日最大瞬間風速・風向	北 23.1	1月 24日	1959年 1月
1月	名護	日最低気温の高い方から	21.5	1月 14日	1967年 1月
3月	名護	日最大1時間降水量	62.0	3月 22日	1967年 3月
3月	久米島	日最低気温の高い方から	23.6	3月 23日	1959年 3月
8月	久米島	日最高気温の低い方から	26.5	8月 5日	1958年 8月

※年間の記録は、該当なし

表20 年の統計値に関する統計開始からの記録更新表  
(各地点での歴代3位まで、“\*”はタイ記録を示す)

年平均気温の高い方から

順位	地点名	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	これまでの最高 (°C)	統計開始	平年値 (°C)
3位	名護	23.4*	+0.6	23.8 (1998年)	1966年	22.8
3位	久米島	23.8*	+0.6	24.2 (1998年)	1958年	23.2

年降水量の少ない方から

順位	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	これまでの最少 (mm)	統計開始	平年値 (mm)
1位	南大東島	830.0	51	1050.0 (2002年)	1942年	1639.3

※年平均気温の低い方から、年降水量の多い方から、年間日照時間の多い方から、年間日照時間の少ない方からの記録更新は、該当なし

表21 猛暑日、真夏日等の年間日数(各地点での歴代3位まで)および、  
継続日数(各地点での歴代1位のみ)の記録更新表  
(“\*”はタイ記録を示す)

日最高気温35°C以上の日(猛暑日)の年間日数

順位	地点名	2023年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
1位	西表島	1*	1 (2014年)	1957年	0.1

日最低気温 25°C以上の日の年間日数

順位	地点名	2023年の 年間日数(日)	これまでの最多 (日)	統計開始	平年値 (日)
2位	名護	121	135 (2016年)	1966年	96.0
2位	久米島	123	135 (2016年)	1958年	98.2
3位	南大東島	108	123 (1998年)	1942年	88.5

日最高気温 35°C以上の日(猛暑日)の継続日数

地点名	継続日数(日)	継続期間	統計開始
西表島	1*	2023年7月13日～2023年7月13日	1957年

※日最高気温 30°C以上の日(真夏日)の年間日数(歴代3位まで)および、日最高気温 30°C以上の日(真夏日)、日最低気温 25°C以上の日の継続日数(歴代1位)の記録更新は、該当なし

## 3 生物季節観測表（那覇、南大東島、宮古島、石垣島）

表22 生物季節観測表

観測場所	種別 (代替種目)	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日	平年差		
那覇	さくら（ひかんざくら）	開花	1月7日	1月16日	1月11日	-9	12月28日	2月8日
宮古島	さくら（ひかんざくら）	開花	1月15日	1月17日	1月19日	-2	12月30日	2月7日
那覇	うめ	開花	1月16日	1月13日	12月30日	+3	12月22日	2月5日
石垣島	うめ	開花	1月21日	1月11日	1月24日	+10	12月16日	2月10日
那覇	さくら（ひかんざくら）	満開	1月30日	2月4日	2月1日	-5	1月23日	2月19日
石垣島	さくら（ひかんざくら）	開花	2月3日	1月18日	1月27日	+16	12月19日	2月20日
宮古島	さくら（ひかんざくら）	満開	2月3日	2月9日	2月8日	-6	1月23日	3月2日
南大東島	さくら（ひかんざくら）	開花	2月7日	1月20日	1月28日	+18	1月4日	2月9日
那覇	すすき	開花	10月20日	10月16日	10月25日	+4	8月1日	10月29日
石垣島	すすき	開花	10月25日	10月6日	10月31日	+19	6月26日	11月5日
南大東島	すすき	開花	10月30日	10月24日	10月26日	+6	9月18日	11月13日
宮古島	すすき	開花	11月1日	10月25日	10月28日	+7	10月4日	11月6日

平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示す。  
 年をまたいで観測した種目については、前年の観測も含んでいる。